

技術提案書記述項目一覧

※記載がない場合は配点0となります。

項目No.	項目	技術提案書記述項目	記述必須	配点方法等
1	基本要件・各種スイッチ	<p>(1)調達仕様書「7.委託の概要、9. 現行ネットワークの構成、10.1新ネットワークに求める基本要件」を踏まえた上で、本業務で構築する新ネットワークについて具体的(仕様書の各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例> どのようなネットワークを提案するか(全体像、構成、各システム接続、など) 提案する新ネットワークの特徴(他事業者との比較優位性) 遅延時間短くする仕組みや工夫 既存都産技研環境の活用 等</p> <p>(2)調達仕様書「10.6から10.11までの各スイッチ」についての理解を踏まえた上で、本業務で構築するスイッチ類について具体的(仕様書の各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例> 構成する各スイッチの仕様(スイッチング容量、パケット転送能力、メモリ容量など) 各スイッチおよび無線アクセスポイントの対応規格 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	<p>・絶対評価とする</p> <p>・配点</p> <p>A : 非常に良い (100%配点)</p> <p>B : 良い (75%配点)</p> <p>C : 普通 (50%配点) →必要最低限の記載があるレベル (仕様書の必須項目を満たしている)</p> <p>D : 悪い (25%配点)</p> <p>E : 非常に悪い (0%配点)</p>
2	利便性・運用性・統合管理	<p>(1)調達仕様書「10.2利便性・運用性」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的(仕様書の各項目への対応)に記載すること。</p> <p>(2)調達仕様書「10.12統合管理ソリューション」についての理解を踏まえた上で、提案を具体的(仕様書の各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例> 長期(2030年3月31まで)に渡って使える製品の採用 (長期使えるとする理由、サポート期間、サポート体制等) 端末情報取得の仕組み 統合管理のGUI上での操作機能 統合管理の構築環境 統合管理の稼働率を達成するための工夫 管理機器の一括設定/自動設定/監視/通知の仕組み(課題3) 管理機器のステータス表示(ポートの給電状況、高メモリ・CPU使用デバイス、トラフィック状況など) 管理者の利便性向上の仕組み(APIやプログラム言語での設定) 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上
3	拡張性・柔軟性	<p>(1)調達仕様書「10.3拡張性・柔軟性」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的(各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例> 機器拡張時の仕組みや工夫(有線ポートおよび無線アクセスポイント増加時) 追加要件への柔軟な対応(拠点の追加や統廃合時の仕組みや工夫、既存環境への影響) 通信量増加した際でも遅延が少なくなる仕組み 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上

項目No.	項目	技術提案書記述項目	記述必須	配点方法等
4	信頼性・可用性	<p>(1)調達仕様書「10.4信頼性・可用性」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的(各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例> 機器の安定した連続運用の仕組み(稼働率、予備機の用意、停電対策など) 冗長構成の仕組み 冗長構成の目安切替時間 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上
5	セキュリティ・認証	<p>(1)調達仕様書「10.5セキュリティ」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的(各項目への対応)に記載すること。</p> <p>(2)調達仕様書「10.13認証サーバ」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的に記載すること。</p> <p>例> アクセスログ・操作ログの管理(端末操作ログ、個人情報やユーザ管理データへのアクセスログなど) 端末特定方法、不正端末のネットワーク遮断の仕組み 機器利用事業のセキュリティ対策の手法(課題6) 外部ソリューションとの連携の仕組み 等 認証機能の特徴、優位性 検疫システムの特徴、優位性 検疫エージェントの導入方法・業務影響および端末への影響 端末認証方法の仕組みや認証プロセス工程(課題1) 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上
6	SASE	<p>(1)調達仕様書「10.14 SASE(セキュリティプラットフォーム)」の各種要件を踏まえた上で、提案(各項目への対応)を具体的に記載すること。</p> <p>例> セキュリティ設定の仕組み(課題2) SASEの特徴、優位性 端末の自動隔離の仕組み 標準で対応しているSaaSの数やURLフィルタリング数 クラウド利用時のセキュリティ対策(課題7)</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上
7	委託体制	<p>(1)調達仕様書「11.管理業務に関わる要求,12.設計業務に関わる要求,13構築業務に関わる要求」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的(各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例> プロジェクト管理上の工夫(体系化、考え方) 全体のスケジュール(WBS、マイルストーンなど) スケジュール遅延しないための対策 課題・リスクを漏れなく管理し、課題を確実に解決するための手法 コミュニケーションや会議を円滑に運営するための工夫 要件定義、設計、構築工程における職員への配慮と合意形成の工夫 各工程における進め方、ポイント、工夫 委託を遂行可能なメンバの構築期間中の安定的な確保 プロジェクト責任者の実績(プロジェクト管理実績、プロジェクト管理関連の資格) メンバの実績(有用な実績や関連資格) 再委託先企業の管理手法(再委託業務範囲、再委託理由) ネットワーク導入時の工夫(職員負荷軽減策) 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上

項目 No.	項目	技術提案書記述項目	記述 必須	配点方法等
8	保守体制	<p>(1)調達仕様書「14.保守に関わる要求」の各種要件を踏まえた上で、提案を具体的(各項目への対応)に記載すること。</p> <p>例></p> <p>稼働後の都産技研へのサポート内容(瑕疵担保の範囲内)</p> <p>体制上の工夫、担当者の配置</p> <p>迅速かつ適切な障害対応の工夫・体制</p> <p>保守経費の抑制と、満足度の高いサポートの両立における工夫</p> <p>2026年4月1日以降の保守費用 等</p> <p>※上記の項目について根拠も記載すること。</p>	必須	同上
9	入札参加者からの追加提案	<p>(1)上記記載項目以外で、本業務実施にあたって更なる工夫および都産技研に有用(コスト削減や人員削減など)な提案</p>	非必須	同上